電気配線実習

ビル管理技術科

R4年度就職率
83%

標準コース
訓練期間：6か月
入 所 月：4月/7月/
10月/1月

ビジネススキル講習付き
訓練期間：7か月
入 所 月：6月/9月/
12月/3月

想定される仕事、就職実績企業

- 電気工事（東横イン電建(株)等）
- ビル設備管理（九州綜合サービス等）
- 施設運転維持管理（Ｊ＆Ｔ環境(株)等）
- 空調設備工事
- ＬＰガス設備保全

必要経費

- テキスト代、作業帽：7,000円程度
  （作業服は各自で準備してください）

テクノインストラクターのコメント

20 代から 60 代まで、様々な経験をお持ちの方が学ばれています。訓練は電気や水道など身の回りにある設備を学びます。基礎から習得していくので初心者の方は大歓迎です。生活に身近な内容なので家庭にも役立ちますよ。

ビル管理技術科の内容

ビルや住宅に欠かせない「電気・水道・空調」設備の知識を学び、施工実習を通じて工事・保守・点検の技術を習得します。

4月 10月 電気配線工事

- 電気の基礎
- 配線設計
- 低圧電気取扱い（特別教育）
- 電気工事実習

7月 1月 給排水衛生設備

- 危険物取扱
- 上下水道に関する知識
- 給排水管の接続
- 衛生器具据付

5月 11月 電気設備保全管理

- 電気測定
- 高圧受電設備
- シーケンス制御
- 電動機制御

8月 2月 ボイラー取扱・設備ＣＡＤ

- ボイラーの構造
- ボイラーの取扱い
- ＣＡＤ基本操作
- 設備CADによる図面作成

6月 12月 情報活用・ＰＬＣ制御

- ＰＬＣ制御
- ＰＬＣによる電動機制御
- 文書作成
- 表計算

9月 3月 空調設備保全管理

- 空調に関する知識
- ガス溶接（技能講習）
- 冷媒配管
- エアコン据付

取得にチャレンジできる資格

- 第二種電気工事士
  （上期：学科5月実技7月、下期：学科10月実技12月）
  低圧で受電する設備の電気工事ができます。（受験料：9,600円）
- 第一種電気工事士（学科10月・実技12月）
  高圧受電の工場、ビルなどの工事に従事できます。
  (受験料：11,300円)
- 二級ボイラー技士（学科毎月：九州安全衛生技術センター）
  ボイラーの取り扱いができます。
  また、伝熱面積25㎡未満のボイラーの作業主任者になることができます。（受験料：6,800円）
- 乙種危険物取扱者（6月、11月、2月）
  ガソリン、灯油などの第4類の危険物の取扱ができます。

訓練期間中に取得可能な資格

- ガス溶接技能講習
- 低圧電気取扱業務に係る特別教育

ビル管理技術科
HPはこちら